

新岡山県環境基本計画（エコビジョン 2020）の 平成 28 年度進捗状況について

岡山県環境基本条例に基づく、環境の保全に関する総合的な計画である新岡山県環境基本計画の平成 28 年度進捗状況の概要は次のとおりである。

1 計画の概要

(1) 期 間 平成 20 年度～平成 32 年度（※重点プログラムの目標年次は平成 28 年度）

(2) 内 容

ア 計画の目指すべき姿（平成 32 年度）

より良い環境に恵まれた持続可能な社会

イ 基本目標（※括弧内は重点プログラム数）

- ① 地域から取り組む地球環境の保全（34） ② 循環型社会の形成（25）
③ 安全な生活環境の確保（29） ④ 自然と共生した社会の形成（20）

ウ 推進目標（※括弧内は重点プログラム数）

- ① 参加と協働による快適な環境の保全（24）
② 環境と経済が好循環する仕組みづくり（23）

2 平成 28 年度進捗状況

重点プログラム達成レベル（目標年次は平成 28 年度）

区 分		達成レベル別重点プログラム数					平均
		1	2	3	4	5	
基本目標	① 地域から取り組む地球環境の保全	0	5	24	3	2	3.06
	② 循環型社会の形成	0	1	24	0	0	2.96
	③ 安全な生活環境の確保	0	2	27	0	0	2.93
	④ 自然と共生した社会の形成	0	1	17	2	0	3.05
推進目標	① 参加と協働による快適な環境の保全	0	4	18	1	1	2.96
	② 環境と経済が好循環する仕組みづくり	0	3	16	3	1	3.09
全体（重複する項目は除く）		0	11	103	7	3	3.02

※「達成レベル」：1 目標水準を大きく下回った 2 目標水準を下回った 3 概ね目標水準
4 目標水準を上回った 5 目標水準を大きく上回った

3 代表的な指標等の進捗状況

次頁のとおり

4 今後の進め方

- 県民局単位で開催する「県民の意見を聴く会」等で広く意見を聴きながら、消費者や事業者など様々な団体が参加する「エコパートナーシップおかやま」の活動に反映させていくなど、県民、事業者、市町村等と計画の目標、進捗状況、課題等を共有しながら、協働による計画の推進を図る。
- 進捗状況が伸び悩んでいるものについては取組方法等を検討するなど、その成果や課題を今後の計画の推進に反映させる。

代表的な指標等の進捗状況

基本目標① 地域から取り組む地球環境の保全

主要施策（抜粋）	
地球温暖化対策 ○太陽光発電の導入促進 ○新エネルギーの普及啓発等 ○建築物等の省エネルギー化の促進 ○省エネ型ライフスタイル・ビジネススタイルの定着促進 ○低公害車の導入促進 ○公共交通機関等の利用促進	○フロン類対策の推進 ○森林の保全 酸性雨対策 ○硫黄酸化物・窒素酸化物の排出抑制 国際貢献 ○環境技術協力

項 目	策 定 時	現 況	目 標 (H32) (H30数値)
企業(製造品出荷額当たり)のエネルギー消費量 (GJ/百万円)	77.4 (H16)	56.4 (H25速報)	61.9 (20%減)
家庭（1世帯当たり）のエネルギー消費量 (GJ)	41.9 (H16)	37.1 (H25速報)	33.5 (20%減)
自家用車1台当たりのエネルギー消費量 (GJ)	35.9 (H16)	28.6 (H25速報)	26.9 (25%減)

基本目標② 循環型社会の形成

主要施策（抜粋）	
3Rの推進 ○循環型社会に向けたライフスタイルの 変革 ○循環資源情報の提供 ○一般廃棄物の3Rの推進 ○産業廃棄物の発生抑制 ○循環資源の利活用推進 ○岡山エコタウンプランの推進	グリーン購入等の推進 ○グリーン購入等の推進 廃棄物の適正処理の推進 ○産業廃棄物の適正処理の推進 ○一般廃棄物の適正処理の推進 ○不法投棄の根絶

項 目	策 定 時	現 況	目 標 (H32)
一般廃棄物の排出抑制・資源化率 (%)	90 (H17)	95.6 (H27)	95 (H31)
産業廃棄物の排出抑制・資源化率 (%)	93 (H17)	95.4 (H27)	95 (H31)

基本目標③ 安全な生活環境の確保

主要施策（抜粋）	
大気環境の保全 ○自動車公害対策の実施 ○低公害車の導入促進 ○大気汚染防止対策の実施	騒音・振動の防止 ○道路交通騒音・振動、航空機騒音、新幹線鉄道騒音・振動対策
水環境の保全 ○河川等の保全対策の推進 ○湖沼水質保全対策の推進 ○瀬戸内海の保全と再生	土壌・地下水汚染対策 ○土壌・地下水汚染の防止
	有害物質対策 ○有害化学物質による環境汚染の防止
	環境放射線の監視 ○環境放射線の監視

項 目	策 定 時	現 況	目 標 (H32)
児島湖の水質（COD）（mg/l）	8.0 (H18)	8.0	6.0
自動車保有台数に占める低公害車(※)の割合（%）	—	37.4 (H27)	46 (H31)

※天然ガス自動車・電気自動車・ハイブリッド自動車・メタノール自動車・燃料電池自動車・低排出ガス認定かつ低燃費自動車を指す。

基本目標④ 自然と共生した社会の形成

主要施策（抜粋）	
豊かな自然環境の保護 ○自然公園等の保護	水とみどりに恵まれた環境の保全とみどりの創出 ○水辺環境の保全と創出
野生生物の保護 ○希少野生動植物の保護 ○野生鳥獣の保護管理	○森林の保全 ○里地・里山の保全 ○身近なみどりの創出
自然とのふれあいの推進 ○自然とのふれあいの場の確保	自然との共生おかやま戦略の推進 ○自然との共生おかやま戦略の推進

項 目	策 定 時	現 況	目 標 (H32)
希少野生動植物(条例指定)の保護に取り組む地域数(地域)	4 (H18)	11	12
自然公園利用者数(万人)	1,234 (H17)	1,215	1,450 (H31)

推進目標① 参加と協働による快適な環境の保全

主要施策（抜粋）	
協働による環境保全活動の促進 ○環境NPO等との協働 ○県民総参加による取組の推進	景観の保全と創造 ○県土岡山の景観形成の推進
環境学習の充実 ○実践につながる環境学習の推進 ○協働の取組等による環境学習の充実	快適な生活環境の保全 ○落書き防止・消去活動の推進 ○光害に配慮した屋外照明設備の普及啓発

項 目	策 定 時 (H23)	現 況	目 標 (H28)
おかやまアダプト参加者数（人）	42,902	50,107	50,000
環境学習出前講座の協働実施回数（回）	183	311	220
景観行政団体の数（市町村）	6	8	10
落書き防止重点取組地区指定地区数（累計、地区）	2	5	12

推進目標② 環境と経済が好循環する仕組みづくり

主要施策（抜粋）	
グリーン成長の推進 ○新エネルギーの推進 ○環境等関連分野の研究開発支援 ○リサイクルビジネスの育成 ○グリーン購入等の推進	環境に配慮した事業者の育成・拡大 ○環境マネジメントシステムの普及拡大 ○CSR（企業の社会的責任）活動の普及 ○環境保全のための費用負担意識の普及
	環境影響評価の推進 ○環境影響評価の適正な実施

項 目	策 定 時 (H23)	現 況	目 標 (H28)
循環型産業クラスターで開発された製品の数（件）	9	13	13
岡山県エコ製品の認定品目数（品目）	423	364	425
巡回エコ製品等普及展示会参加者数（人）	5,310	6,770	5,000
岡山エコ事業所の認定件数（件）	277	259	300